

## 理事会・評議員会

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

精神疾患及び精神障害の予防並びに治療に係る研究に関する活動と、障害者や高齢者の社会生活全般に関する支援活動を行うとともに、心の健康を普遍化して偏見をなくした心豊かな社会づくりを目指すため、適正な法人の運営を行った。

### 【報告項目】

- ①理事会の開催
- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

### 【報告内容】

- ①理事会の開催

理事会を 3 回開催した

	開催日	議案
第 1 回理事会	4 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理事の辞任及び補選理事候補者の推薦、選考について承認を受ける件</li> <li>● 平成 27 年度 第 1 回臨時評議員会の招集について</li> </ul>
第 2 回理事会	5 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 26 年度事業報告について承認を受ける件</li> <li>● 平成 26 年度決算報告について承認を受ける件</li> <li>● 土地及び建物の購入並びに購入資金の借入れについて承認を受ける件</li> <li>● 平成 27 年度 定時評議員会の招集について承認を受ける件</li> </ul>
第 3 回理事会	3 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 若年性認知症総合支援センター事業の応募及び選定された場合の事業受託について承認を受ける件</li> <li>● 平成 28 年度事業計画案について承認を受ける件</li> <li>● 平成 28 年度収支予算案について承認を受ける件</li> <li>● 平成 28 年度資金調達及び設備投資の見込みについて承認を受ける件</li> <li>● 平成 28 年度利益相反取引について承認を受ける件</li> <li>● 平成 27 年度第 2 回臨時評議員会の招集について承認を受ける件</li> <li>● 主たる事業所の移転について承認を受ける件</li> </ul>

- ②定時評議員会・臨時評議員会の開催

定時評議員会の他、臨時評議員会を 3 回開催した

	開催日	議案
第 1 回 臨時評議員会	4 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 補選理事の選任</li> </ul>
定時評議員会	6 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 26 年度事業報告について意見具申と承認を受ける件</li> <li>● 平成 26 年度決算報告について意見具申と承認を受ける件</li> </ul>
第 2 回 臨時評議員会	3 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成 28 年度事業計画案について意見具申と承認を受ける件</li> <li>● 平成 28 年度収支予算案について試験具申と承認を受ける件</li> <li>● 平成 28 年度資金調達及び設備投資の見込み書類について意見具申と承認を受ける件</li> </ul>

## ◆地域生活支援センター青明舎

報告担当者 センター長 森 富茂子

## 【報告概要】

障害者及び家族からの来所相談・電話相談・訪問相談を行い、生活全般・医療・日常生活上の悩み事等へ、必要な情報の提供及び助言、解決を講じ、関わる機関との連絡調整やケース検討を行うことで解決に努めた。また、他事業所に情報提供や助言を行う機会もあり、八戸市においては、障がい者相談支援事業者連絡会議の運営に携わり、委託を受ける事業所としての役割を担った。医療・福祉機関、地域住民、公的機関からの相談をされることも多く、各障害特性別の対応を心掛けた。また、在宅の障害者の社会参加を目指し、当センター活動室において、創作的活動の機会の提供、地域社会との交流の促進を図り、障害者・ボランティア・家族・地域住民が気軽に立ち寄れる環境づくりを行った。そしてこれらを実施することで、障害者がより円滑に地域生活を送ることができるように支援することを目的として事業を行った。

## 【報告項目】

- ①相談支援事業
- ②地域活動支援センター I 型事業
- ③指定計画相談支援事業（サービス利用支援・継続利用支援）
- ④指定地域相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

## 【報告内容】

## ①相談支援事業

## 1) 相談支援事業

訪問、来所相談、電話相談にて以下の相談に応じた。

- ・福祉サービスの利用援助に関する事
- ・社会資源を活用するための支援に関する事
- ・社会生活力を高めるための支援に関する事
- ・ピアカウンセリングに関する事
- ・権利擁護のために必要な援助に関する事
- ・専門機関の紹介に関する事

必要に応じて、同行や関係機関との連絡調整、個別ケア会議を実施した。

委託市町村へ、毎月実績報告書を提出した。

月	行動報告	
	支援内容	年間延利用件数
随時	訪問	561 件
	来所相談	3,989 件
	同行支援	46 件
	電話相談	935 件
	関係機関との連絡調整	578 件
	個別ケア会議	21 件

## 2) 相談支援機能強化事業

相談支援機能の強化を図るため、一般的な相談支援事業に加え、相談支援事業が適切かつ

円滑に実施されるよう、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行った。

新郷村では出張相談会を開き、清明舎まで来所が

月	行動報告
随時	必要に応じ、相談支援事業者に対する専門的指導、助言を行う。

### 3) 地域自立支援協議会（個別ケア会議）への参加

月	行動報告
5月11日 7月27日 10月5日 12月3日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議事務局会議
6月22日 9月15日 12月21日 1月26日	八戸市障がい者相談支援事業者連絡会議
7月9日 9月10日 10月8日 2月18日	八戸市障がい者就労支援団体ネットワーク化会議

### 4) 入居等支援事業

賃貸契約による一般住居を希望しているが保証人がいない等の理由により入居が困難な方に、必要な調整等の支援を行った。

月	行動報告
随時	関係機関との連絡・調整、地域生活の支援、緊急時の対応・支援 ※登録者：5名 ※年間延べ利用件数：104件

### 5) 成年後見制度利用支援事業

成年後見制度の利用が認められる知的障害者又は精神障害者に対し、申立て等について、各市町村と連携を取りながら支援するが、対象者がおらず実施しなかった。

## ②地域活動支援センター I 型事業

### 1) プログラム活動の企画・運営

活動室を開放し、社会生活に必要なスキルの維持・向上を図るプログラムを実施。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成
毎月	プログラム活動月間予定表の作成
通年	活動室の開放、メンテナンス

### 2) 余暇活動（行事、イベント）の企画・運営

生活のしづらさを感じやすい障害者や、引きこもり等、既存の社会資源を利用できない層の相談窓口となり、障害者と地域社会の交流を図った。

月	行動報告	参加数
4月	活動室年間スケジュールの作成	
5月	花見	11名
6月	イオン下田ショッピングツアー	8名
7月	映画	11名
8月	すこやか祭り（本部）※雨天中止	0名
9月	卓球大会	4名

10月	ぶどう狩り	13名
11月	カラオケ大会	6名
12月	もちつき大会（本部）	13名
1月	正月イベント	24名
2月	ゲーム大会	7名
3月	めっちゃうま大会	7名

3) 障害者サポーター養成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動

医療・福祉及び地域の社会的基盤との連携強化のための調整、障害者サポーター育成、障害に対する理解促進を図る為の普及啓発活動の事業を実施した。

月	行動報告
4月	年間活動スケジュールの作成、障害者サポーター登録、サポーターデータ管理表作成
6月20日	サポーター養成講座実施。※参加者 10名
6月27日	サポーター養成講座実施。※参加者 9名

4) ライフサポート

日常生活の支援、日常的な相談への対応、日常生活の質の向上と問題解決のための援助及び情報提供を実施。

月	行動報告	
4月	定期訪問者 訪問スケジュール作成	
随時	訪問、来所、同行、電話相談等の対応定期訪問者	
通年	入浴、洗濯、インターネット、食事作り、緊急時対応	
	支援内容	年間延利用件数
	入浴	311件
	洗濯	3件
	インターネット	32件
	食事作り	58件
オンコール（夜間電話）	81件	

③指定特定相談支援事業

サービス利用計画・障害児支援利用計画案等の作成、事業者との連絡調整及びサービス等の利用状況の検証を行い計画の見直しを行った。

月	行動報告
随時	相談支援・サービス利用計画作成・サービス担当者会議実施・モニタリング実施・作成料請求業務

登録者数・実績表

月	新規(利用支援)	継続(継続支援)	登録者数
4月	7名	4名	6名
5月	8名	5名	8名
6月	0名	18名	0名
7月	4名	11名	3名
8月	3名	10名	3名
9月	8名	12名	5名
10月	1名	11名	0名
11月	2名	11名	2名
12月	4名	15名	4名

1月	5名	11名	2名
2月	3名	16名	3名
3月	5名	24名	3名
合計	50名	148名	39名

## ④指定地域相談支援事業

## 1) 地域移行支援

障害者支援施設等に入所している方や精神科病院に入院している方に対して、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談に応じた。

月	行動報告
随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居確保その他の地域生活に移行するための支援に関する相談</li> <li>・地域生活への移行のための外出時の同行</li> <li>・障害福祉サービスの体験利用</li> <li>・体験宿泊</li> <li>・地域移行支援計画の作成</li> </ul> ※登録者：2名 ※年間延べ利用件数：22件

## 2) 地域定着支援

居宅において单身等の状況において生活する障害者等に対して、当該障害者等との常時の連絡体制を確保し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態等において相談に応じた。27年度登録者は2名。

月	新規(利用支援)	継続(継続支援)	登録者数
4月	7名	4名	6名
5月	8名	5名	8名
6月	0名	18名	0名
7月	4名	11名	3名
8月	3名	10名	3名
9月	8名	12名	5名
10月	1名	11名	0名
11月	2名	11名	2名
12月	4名	15名	4名
1月	5名	11名	2名
2月	3名	16名	3名
3月	5名	24名	3名
合計	50名	148名	39名

## ◆障害者就業・生活支援センターみさわ

報告担当者 センター長 坂下優子

## 【報告概要】

就職を希望する障害者、職場不適合により離職した障害者や離職のおそれがある在職中の障害者に対し、障害者就業・生活支援センターにおいて、就業及びこれに伴う日常生活、社会生活上の支援を行うことにより、障害者の職業生活における自立を図ることを目的とした。また、生活支援担当職員が支援対象者の家庭等や職場を訪問し、支援対象障害者の生活上の相談等に応じ、就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行うことにより、障害者の就労継続を図ることを目的として運営した。

## 【報告項目】

- ① 雇用安定事業
- ② 生活支援等事業

## 【報告内容】

## ① 雇用安定事業

## 1) 障害者の就業支援

就職に向けた準備支援（職業準備訓練、職場実習のあっせん）、求職活動の支援、職場定着支援、事業所に対する障害者の障害特性を踏まえた雇用管理に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	職場実習場所の開拓、確保、職場実習の実施、事業所への説明、利用者への説明、短期職場実習制度の利用、求職活動支援、職場定着支援

## 2) 障害者の就業支援からみる生活支援 ※②生活支援等事業と連動

生活習慣の形成、健康管理、金銭管理等の日常生活の自己管理に関する助言、地域生活、生活設計に関する助言、関係機関との連携、調整を行った。

月	行動報告
通年	家庭・職場・実習先への訪問巡回、職場定着支援、利用登録の意志確認、在職者交流会

## 3) 目標件数の達成状況

目標件数設定項目	平成 27 年度 目標値	平成 27 年度 達成値	達成率
支援対象障害者数 (人)	230 人	264 人	115%
障害者に対する相談・支援件数 (件)	2,600 件	2,429 件	93%
職業準備訓練及び職場実習のあっせん件数 (件)	21 件	28 件	133%
就職件数 (件)	18 件	39 件	217%

## 4) 各関係機関との連携、情報交換、報告

事業が円滑かつ効果的に行われるように関係機関と連絡を密にし、連携体制を構築した。

月	行動報告
4 月 28 日	第 1 回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
6 月 11 日	第 1 回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
6 月 26 日	三沢地区障がい者就労支援連絡会総会参加

7月24日	進路講話会（青森第二高等養護学校）参加
7月27日、29日	四者面談（青森第二高等養護学校）参加
8月1日	第1回在職者交流会実施
8月11日	上北地区特別支援連携協議会参加
8月21日	第2回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
10月18日	第2回在職者交流会実施
10月22日	障害者就職面接会後援、参加
10月30日	第2回障害者就業・生活支援センターみさわ事業連絡会議実施
11月19日	七戸養護学校 センターみさわ事業説明 来所
11月28日	第3回在職者交流会実施
12月7日	七戸養護学校キャリアチャレンジ
12月18日	第3回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
1月21日	十和田ハローワーク 障害者就職ミニ相談会 共催
2月19日	第4回障害者就業・生活支援センター連絡協議会参加
3月12日	第4回在職者交流会実施
3月随時	移行支援会議（七戸、青森第二高等養護学校）参加
適宜	県内各障害者就業・生活支援センター事業連絡会議参加 特別支援学校生徒、企業実習の巡回協力実施 ハローワークとのチーム支援会議実施
毎月	地域自立支援協議会（三沢市・十和田市）参加

5) 啓発活動

月	行動報告
10月23日	青森県労政・能力開発課との優良事業所見学会 （ヤマショウフーズ）
11月21日	三沢市 障害者に対する理解を深めるための研修・啓発事業 三沢健康フェア出展
3月4日	青森県労政・能力開発課との優良事業所見学会 （育英管材）

② 生活支援等事業

1) 日常生活の自己管理に関する指導・助言

月	行動報告
随時	生活習慣の形成や日常生活の自己管理のための助言 健康管理や金銭管理等に関する指導・助言 保健医療機関、生活支援サービス利用の支援を実施

2) 地域生活に関する指導・助言

月	行動報告
随時	住居の確保や年金などの申請に関して助言 活用できる福祉サービスの利用調整を実施 就業後や休日における余暇活動について助言

3) 生活設計に関する指導・助言

月	行動報告
随時	長期的な視野での生活設計等について指導・助言 本人の自己選択・自己決定に関する助言

4) 家族、知人との関係の調整や緊急時の対応等の支援を行った。

5) その他就業及びこれに伴う日常生活又は社会生活に必要な支援を行った。

## ◆こころすこやか財団グループホーム

報告担当者 管理者 森 富茂子

### 【報告概要】

障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業「外部サービス利用型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同して自立した日常生活及び社会生活を営む事ができるよう援助し、障害者の福祉の増進を図った。

### 【報告項目】

- ① こころすこやか財団グループホームの運営
  - 「あおぞら（定員：女性 7 名）」「あおば（定員：男性 5 名）」「あおめ（定員：男性 6 名）」
  - 「あおみ（定員：男性 7 名）」
  - 1) 個別支援計画の作成及び提供
  - 2) 関係機関との情報共有及び連携
  - 3) 生活の質の向上及び健康の維持
  - 4) 訓練等給付費請求・受領業務
  - 5) 生活費等の出納管理
  - 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理
  - 7) 外部サービス利用時の連絡調整
  - 8) 年間利用者状況
- ②グループホームあおみの開設
  - 1) 指定にかかる変更届の提出
  - 2) 開設準備

### 【報告内容】

- ①こころすこやか財団グループホームの運営
  - 1) 個別支援計画の作成及び提供
 

利用者の意向、適正、障害の特性を踏まえた個別支援計画を作成し提供するとともに、断続的な評価を実施し適切かつ効果的な援助を提供した。

実施月日	実施内容
適宜	アセスメント
適宜	個別支援計画の評価・個別支援計画の作成検討会議
適宜	個別支援計画の作成と同意・提供

- 2) 関係機関との情報共有及び連携
 

利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供と、医療、関係機関、家族との連携、調整を行なった。

実施月日	実施内容
随時	通院の同行、関係機関への同行 家族との連絡、情報交換 サービス担当者会議・ケア会議の実施、参加

- 3) 生活の質の向上及び健康維持
 

生活の質の向上と健康維持の為の援助を提供した。

実施月日	実施内容
27年 10月 20日	日中想定通報・避難訓練



28年 3月 13日	夜間想定避難訓練
随時	服薬管理・健康管理・生活相談 建物管理・設備管理・環境整備・大掃除支援等

- 4) 訓練等給付費請求・受領業務  
サービス費等請求業務及びサービス費等代理受領業務

実施月日	行動計画
毎月	利用料金の徴収 国保連への請求及び代理受領 会計に関する諸記録の整備

- 5) 生活費等の出納管理  
家賃、水光熱費、その他日常に要する費用に関する金銭管理を行った。

実施月日	実施内容
毎月 2 日	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

- 6) 訓練等給付の支給決定内容の管理

実施月日	行動計画
随時	訓練給付サービス支給更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

- 7) 外部サービス利用時の連絡調整

実施月日	行動計画
随時	個別支援計画に基づいた居宅介護支援事業所への依頼及び 連絡調整 関係機関への情報提供等

- 8) 年間利用者状況

(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	あおぞら 定員 7 名 (女)			あおば 定員 5 名 (男)			あおめ 定員 6 名 (男)			あおみ 定員 7 名 (男)		
	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数	入	退	現在数
H27.4月	0	0	7	0	0	5	0	0	6	/	/	/
5月	0	0	7	0	0	5	0	0	6	/	/	/
6月	0	0	7	0	0	5	0	0	6	/	/	/
7月	0	0	7	0	0	5	0	0	6	0	0	0
8月	0	2	5	0	0	5	0	1	5	0	0	0
9月	0	0	5	0	0	5	1	0	6	3	0	3
10月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	1	1	3
11月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	3
12月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	3
H28.1月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	3
2月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	3
3月	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	3
延利用者数計	0	2	68	0	0	60	1	1	71	4	1	21

- ②グループホームあおみの開設

- 1) 指定にかかる変更届の提出

実施月日	実施内容
平成 27 年 6 月	青森県健康福祉部障害福祉課へ変更届の提出

2) 開設準備

実施月日	実施内容
平成 27 年 5 月	グループホームあおみ完成 建物登記手続き
平成 27 年 6 月	開設準備（物品等手配、その他）

## ◆グループホーム青風荘

報告担当者 施設長 高橋昭徳

### 【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「介護サービス包括型共同生活援助事業」の適切な運営と、利用者が地域において共同で自立した日常生活または社会生活を営む事ができるよう日常生活上において必要となる援助を行い、生活能力の低下防止と生活の質の向上・自立の促進を図った。

### 【報告項目】

- ①グループホーム青風荘の運営（定員 20 名）
- 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整
  - 2) 個別支援計画の作成、ケアマネジメントの実施
  - 3) 関係機関との情報共有及び連携
  - 4) 健康管理
  - 5) 非常災害対策
  - 6) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
  - 7) 介護給付費請求・受領業務
  - 8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理
  - 9) 余暇活動支援
  - 10) 年間利用者状況

### 【報告内容】

#### ①グループホーム青風荘の運営

##### 1) 日常生活上の支援全般、相談、連絡調整

A) 1 日を通して日常生活の質の向上・維持の為、利用者の意向を踏まえ、日常生活に必要なサービス（家事・相談・助言等）を 24 時間体制で提供した。

実施月日	実施内容
通年	夜間における排泄の介助や見守り 入浴・食事等の支援、洗濯及び掃除・買物等の身の回り や家事全般に関する相談や援助 公共機関利用の支援
随時	支援会議の実施

B) 日中活動の場等関係機関との連絡・調整

実施月日	実施内容
毎週・月～土	通所リハビリテーション青陽館、障害者生活訓練施設青 山荘スタッフとの情報共有、及びプログラム参加の支援
随時	ケア会議への参加

##### 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施

利用者・家族の現状やニーズなどを把握するためにアセスメント及びモニタリングを実施し、個別支援計画を作成し、それに基づいて適切なサービスを提供した。

実施月日	実施内容
随時（6ヶ月以内）	個別支援計画書の作成及び更新 個別支援計画作成検討会議

3) 関係機関との情報共有及び連携

実施月日	実施内容
	苦情処理における第三者委員会は実施しなかった
適宜	外来受診時における利用者の身体・精神状況の情報提供及び同行支援 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加

4) 健康管理

定期検診の実施

実施月日	実施内容
朝・夕(毎日)	対象者のバイタル測定
毎月	糖尿病者対象(1名)～血糖検査
H27年 11月	胸部X-P(一般者20名)
H27年 10月	頭部CT検査(20名)
H28年 1月	心電図(20名)
H27年 7月	脳波(13名)
H27年8月・H28年3月	定期採血(一般セット・20)
H27年 11月	インフルエンザ予防接種(20名)

5) 非常災害対策

実施月日	実施内容
H27年9月	避難誘導訓練(夜間想定)
H28年1月	避難誘導訓練(夜間想定)
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検表の提出

6) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

7) 介護給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等法定代理受領業務

実施月日	実施内容
毎月	国保連への請求・受領 会計に関する諸記録の整備

8) 訓練等給付費の支給決定内容の管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き 利用者負担上限額更新手続き

9) 余暇活動支援

レクリエーションの実施

月	行動計画
8月	調理教室・バーベキュー(施設内)
9月	ぶどう狩り(三戸町)

12月	クリスマス忘年会（施設内）
H28年1月	新年会（施設内）

10) 年間利用者状況（利用者数は毎月末日現在）

月	各月在所人数			入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H27.4月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
5月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
6月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
7月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
8月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
9月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
10月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
11月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
12月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
H28.1月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
2月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
3月	10	10	20	0	0	0	0	0	0
計	120	120	240	0	0	0	0	0	0

## ◆障害者生活訓練施設 青山荘

報告担当者 管理者 古川則子

### 【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「自立訓練（生活訓練）事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上を目的に、宿泊型・通所型訓練を通して、食事や日常生活全般に関わる必要な生活訓練を提供し、利用者の意思及び人格を尊重しサービスの提供を行った。またそれらに関わる各関係機関との情報共有及び連携を図り事業を行った。

### 【報告項目】

- ①障害者生活訓練施設青山荘の運営  
（通所型生活訓練 定員 20 名 宿泊型生活訓練 定員 20 名）
- 1) 生活全般的な QOL 向上を図るためのプログラムの実施
  - 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施
  - 3) 関係機関との情報共有及び連携
  - 4) 生活の質向上・維持及び非常災害対策
  - 5) 利用者負担金及び生活費等の出納管理
  - 6) 訓練等給付費請求・受領業務
  - 7) 障害福祉サービス利用の支給に関する管理
  - 8) 年間利用者状況

### 【報告内容】

- ①障害者生活訓練施設 青山荘の運営
- 1) 地域生活への動機付けやコミュニケーションスキルの習得、生活の基礎作り、及び生活全般的な QOL 向上を図るためのプログラムを実施した。

実施月日	実施内容	
通年	健康管理 （病状管理・ストレス対処技術等） 掃除・整理 すまい 買い物 服装 外出・余暇支援	食生活・調理 生活リズム 安全・危機管理 金銭管理 コミュニケーション 運動
適宜	生活全般に関する相談支援	

- 2) 個別支援計画の作成・ケアマネジメントの実施  
利用者及び家族の現状やニーズなどを把握し、適切なケアマネジメントを行った。

実施月日	実施内容
随時	面談・アセスメント・個別支援計画書の作成及び更新 モニタリング・個別支援計画作成検討会議

- 3) 関係機関との情報共有及び連携  
利用者の意志及び人格を尊重し利用者の立場に立ったサービスの提供及び医療、関係機関、家族との密接な連携を行った。苦情解決のための第三者委員会は行わなかった。

実施月日	実施内容
------	------

適宜	通院時の同行支援及び情報提供 関係機関との情報共有 家族との連絡・面談及び情報交換 ケア会議への参加
H27年12月	家族交流会開催
随時	支援会議の実施

4) 生活の質向上・維持及び非常災害対策

実施月日	実施内容
H27年9月	避難誘導訓練（夜間想定 スタッフ不在時）
H28年3月	避難誘導訓練（日中想定 スタッフ在所時）
毎月	消防用設備の自主点検
年度末	平成27年度分の消防用設備等点検結果報告書・点検記録表・自主点検票の提出

5) 利用者負担金及び生活費等の金銭管理

利用者負担額等の請求・利用料等の受領業務

実施月日	実施内容
毎月	利用料金の徴収・返金 会計に関する諸記録の整備

6) 訓練等給付費請求・受領業務

サービス費等請求業務及びサービス費等の法定代理受領業務

月	行動計画
毎月	国保連への請求及び代理受領

7) 障害福祉サービス利用の支給に関する管理

月	行動計画
随時	訓練給付サービス支給量更新手続き（代行） 利用者負担上限額更新手続き

8) 年間利用者状況

A) 「宿泊型」（利用者数は毎月末現在）

単位：人

月	各月訓練利用者数			新規訓練利用者数			訓練修了者数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
H27.4月	10	4	14	0	1	1	0	0	0
5月	11	4	15	1	0	1	0	0	0
6月	11	4	15	0	0	0	0	1	1
7月	11	3	14	0	0	0	0	0	0
8月	11	4	15	0	1	1	1	0	1
9月	10	4	14	0	0	0	3	0	3
10月	7	4	11	0	0	0	0	0	0
11月	7	4	11	0	0	0	1	0	1
12月	7	4	11	1	0	1	0	0	0
H28.1月	7	4	11	0	0	0	0	1	1
2月	7	4	11	0	1	1	0	0	0
3月	7	5	12	0	1	1	0	0	0
計	106	48	154	2	4	6	5	2	7
年間平均利用数			12.8						

B) 「通所型」(利用者数は毎月末現在)

単位：人

月	各月訓練利用者数				新規訓練利用者			訓練終了者		
	登録者数				男	女	計	男	女	計
	男	女	計	平均利用数						
H27.4月	10	8	18	11.0	0	1	1	1	0	1
5月	10	9	19	11.0	0	1	1	0	0	0
6月	10	9	19	11.9	0	0	0	0	1	1
7月	10	8	18	10.1	0	0	0	1	0	1
8月	9	9	18	11.1	0	1	1	1	0	1
9月	8	9	17	8.5	0	0	0	2	0	2
10月	6	9	15	9.1	0	0	0	0	0	0
11月	6	9	15	9.0	0	0	0	1	0	1
12月	6	9	15	9.2	1	0	0	0	0	0
H28.1月	6	9	15	9.0	0	0	0	0	2	2
2月	7	8	15	9.1	1	1	2	1	0	1
3月	6	9	15	9.0	0	1	1	1	1	2
計	94	105	199	9.8	2	5	6	8	4	12



## ◆障害者就労移行支援事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業「就労移行支援事業」において、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生活能力の維持・向上、また社会経済活動への参加のための就労訓練を行い、社会参加を促進すると共に障害者の自立した生活を助長するため障害者就労移行支援事業所の立ち上げに関する検討を行う予定としていたが、未検討となった。

### 【報告項目】

- ①障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

### 【報告内容】

- ① 障害者就労移行支援事業所の立ち上げ準備

設置場所の検討、立ち上げスケジュールの作成、立ち上げ時期の検討について、平成28年度中に開催できるよう準備を進めていくこととしていたが、他事業立ち上げにより検討できなかった。

## ◆在宅介護支援センターたえみ（多笑）

報告担当者 センター長 松倉典子

## 【事業報告】

地域の高齢者世帯、独居、要介護状態となる可能性がある高齢者又はその家族等に対して、在宅介護等に関する総合的な相談に応じ、家族の介護等に関するニーズに対応した各種の保健、医療、福祉サービス(介護保険を含む)が総合的に受けられるよう各関係機関との連携を図り、常に最適な援助が利用できるよう支援する事を目的として事業を行った。また、地域の高齢者見守りネットワーク構築や生活・介護支援サポーターを育成し、高齢者福祉の増進を図った。

## 【報告項目】

- ① 高齢者実態把握事業
- ② 介護予防プラン作成事業
- ③ 介護予防教室事業
- ④ 高齢者見守りネットワーク事業
- ⑤ ボランティア育成・活用事業
- ⑥ 生活・介護支援サポーター事業

## 【報告内容】

## ①高齢者実態把握事業

1) 担当地区の高齢者に対し、心身・その他についての生活状況の把握を行った。

月	実施内容		
担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	45名	59名	104名
館	41名	36名	77名
豊崎	17名	44名	61名
合計	年間訪問者数：242名		

2) 民生児童委員定例会議への参加し、担当地区（田面木、館、豊崎）民生児童委員と地域住民の情報交換を行った。

月	実施内容	計
毎月第2土曜日	田面木地区民生児童委員定例会議出席	12回
毎月10日	館地区民生児童委員定例会議出席	12回
	合計	24回

## ②介護予防プラン作成事業

1) 実態把握で訪問した高齢者を対象に要介護状態を防ぐために予防プランを作成した。

担当地区	一次予防対象者	二次予防対象者	計
田面木	45名	59名	104名
館	41名	36名	77名
豊崎	17名	44名	61名
合計	242名		

## ③介護予防教室事業

1) 地域住民が交流し、かつ要介護状態にならないよう介護予防教室を実施した。

田面木	14回
-----	-----

館	5 回
豊崎	13 回
合 計	32 回

④高齢者見守りネットワーク事業

1) 町内会・地区社協・民生委員・ほのぼの交流協力員等と連携し、独居や高齢世帯の住民が安心して暮らせる町づくりを目指し、見守りネットワークを構築した。

上田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	3 回
南田面木地区見守りネットワーク連絡会議の開催	2 回
合 計	5 回

⑤ボランティアの育成・活用事業

1) 地区民生委員やほのぼの交流協力員に対し、認知症理解等についてのボランティア育成講座を開催した。

2) 介護予防教室の援助や高齢者地域見守りネットワークにおける見守り協力員としてそれぞれ活用した。地域住民対象にボランティア育成の一環として認知症サポーター養成講座を実施した。

月	実施内容
H27 年 10 月	田面木地区社会福祉協議会主催の田面木まごころネットワークのプログラムの中で認知症サポーター養成講座の開催
H28 年 2 月	豊崎地区瑞豊館にて地域住民対象に認知症サポーター養成講座の開催
通年	介護予防教室開催に伴い、ボランティアの依頼
通年	見守り隊員として、地域の高齢者の見守りを実施

⑥生活・介護支援サポーター養成事業

1) 高齢者が地域で安心して生活するため、サポーターを地域で活用するための養成事業を行った。

・養成対象地区及び人数：大館・東地区在住の 5 名を養成した。

実施日	実施内容
H27 年 11 月 5 日	地域資源を知ろう（研修） 講師：社会福祉協議会 松井淳平
	高齢者疑似体験（研修） 講師：社会福祉協議会 松井淳平
11 月 12 日	コミュニケーションってどんなこと？（研修） 講師：八戸プラザホテル 方波見茂
	守らなければならないこと～守秘義務について～（研修） 講師：こころすこやか財団 山口亜矢子
11 月 19 日	自分を知ろう（研修） 講師：心理士 盛田沙織
H27 年 11 月 26 日	認知症サポーター養成講座（演習） 講師：こころすこやか財団 キャラバンメイト 福土一
H27 年 12 月 9、16、19 日	介護予防教室「認知症予防教室」（演習） 講師：サブセンター福寿草 川井純子、下館礼子

## ◆結び家

報告担当者 代表理事 松倉典子

## 【事業概要】

認知症の利用者を対象にした専門的なケアを提供し、利用者が可能な限り居宅で自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供した。自宅にこもりがちな利用者の社会的孤立感の解消や心身機能の維持回復だけでなく、家族の介護の負担軽減などを目的とし、取り組んだ。

若年性認知症者の支援にも力を入れ、若年性認知症サポートセンターゆえみとして、若年性認知症者及びその家族を対象としたサロン活動を実施し、当事者の仲間作りや悩み相談、そして家族の不安や悩み等の解消及び情報交換による心理的負担を軽減することを目的とする。

## 【報告項目】

- ① (介護予防) 認知症対応型通所介護事業の運営
- ② 若年性認知症サポートセンターゆえみ事業
- ③ スタッフ教育

## 【報告内容】

- ① (介護予防) 認知症対応型通所介護事業の運営

## (1) 通所支援事業

- A) 日常生活とのつながりを意識した認知症者の自立につながるサービスを提供した。  
サービス提供日：月曜日～金曜日（年末年始は除く）

月	利用者 延人数	平均利用者数 (1日)	利用率(月)	稼働率	登録者率
H27年4月	28	1.3	10.61%	100.00%	10.61%
5月	54	2.5	21.43%	91.53%	23.41%
6月	90	4.1	34.09%	90.91%	37.50%
7月	92	4.2	33.33%	82.88%	40.22%
8月	86	3.9	34.13%	76.11%	44.84%
9月	112	5.1	42.42%	89.60%	47.35%
10月	155	7.0	58.71%	94.51%	62.12%
11月	160	7.3	63.49%	86.49%	73.41%
12月	174	7.9	65.91%	91.10%	72.35%
H28年1月	161	7.3	67.08%	88.46%	75.83%
2月	184	8.4	73.02%	88.89%	82.14%
3月	203	9.2	73.55%	85.65%	85.87%
合計	延べ利用者数 合計 1499	平均利用者数 (1日) 5.68	利用率 月平均 48.15%	稼働率 月平均 88.84%	登録者率 月平均 54.64%

- B) 在宅生活を支えるための地域・家族交流の実施

月	実施内容
9/1～9/3	グッジョブ受け入れ（三条中学校2名）

- C) 安定した収入の確保（営業関係）

広報活動：医療機関、居宅介護支援事業所等への広報活動を実施した。

月	実施内容
3/15~4/30	ゆえみ、悠湯の里、近隣居宅介護支援事業所
5/1~5/29	①医療機関 青南病院、西病院、東八戸病院、湊病院、日赤病院、美保野病院、ささクリニック ②サービス付き高齢者住宅 サポージュやわた、ベルメゾンK ③障害福祉関係
6/1~6/30	①医療機関 おっとも脳神経、大里脳神経、村上脳神経 ②サービス付き高齢者住宅 ③居宅介護支援事業所 豊崎、五戸方面 ④市内居宅介護支援事業所（郵送）
その他	外部研修、会議時の案内、営業

(2) 相談支援事業

認知症高齢者だけではなく、若年性認知症及び認知症を発症した障害者の相談にも積極的に応じ、適したサービスを利用できるような情報の提供を行った。他事業所と連携を図り、認知症者本人の豊かな地域生活につながるよう支援を実施した。

月	実施内容
事業開始前3月	利用相談9件（内2件介護保険申請支援）
H27年4月	利用相談3件 家族相談3件
5月	利用相談10件 家族相談4件
6月	利用相談4件 利用中止相談1件 家族相談1件
7月	利用相談1件 家族相談1件
8月	利用相談3件 家族相談1件
9月	利用相談5件 就労相談1件
10月	利用相談2件 家族相談1件
11月	利用相談1件 利用中止相談2件 家族相談5件
12月	利用相談3件 家族相談5件
H28年1月	利用相談3件
2月	利用相談2件 家族相談4件
3月	利用相談3件 利用中止相談1件 就労相談1件 家族相談4件

②若年性認知症サポートセンターゆえみ事業

若年性認知症者及びその家族を対象としてサロン活動（すこやかサロン結喜）を月1回実施し、本人や家族の交流の場として、仲間作りや家族の精神的負担の軽減を図った。

月	実施内容	参加者数		
		家族	当事者	計
H27年4月	親子丼・豚汁・アスパラ菜の和え物	5	6	11
5月	ハッシュドビーフ・フキトマトと肉のスープ	6	5	11
6月	夏野菜カレ・キャベツサラダ・スープ・ワビ	5	4	9
7月	ピリ辛ラーメン・なすの冷し煮・豆腐冷製スープ	6	4	10
8月	肉味噌の冷しそば・大根サラダ・冷製スープ	6	4	10
9月	秋のトマトパスタ・豆乳かぼちゃスープ・アイスクリーム	6	4	10
10月	根菜カレー・さつまいもの豆乳スープ・餃子	6	6	12
11月	銀鮭とキャベツ味噌炒め・ほうれん草のお浸し	5	4	9

公益事業 1 障害者・高齢者・認知症者が安心して暮らせる地域づくり事業  
1.障害者・高齢者・認知症者を支援する事業

12月	ご飯・かぶのクリーム煮・かぶ漬け・大根漬け	4	5	9
H28年1月	ご飯・春雨入りマーボ-白菜・中華ｽｰﾌﾟ	3	4	7
2月	おにぎり・冬野菜のｽｰﾌﾟ・鶏団子ｽｰﾌﾟ	4	4	8
3月	菜の花とたらこの混ぜご飯・天ぷら・ばっけ	3	4	7

③スタッフ教育

1) スタッフの質の向上を図る事で、サービスの質の向上につなげる。

月	形態	実施内容
4/13	勉強会	SBAR（エスパー）報告・連絡のためのコミュニケーションツール
5/21	外部研修1	高次脳機能障害
6/22	勉強会	感染症・食中毒の予防及び蔓延の防止
6/22	勉強会	事故・ヒヤリハットに伴う事故防止対策について
7/15	外部研修1	五戸町認知症研修（福土）
7/15	外部研修	ボランティアコーディネーター研修（豊間根）
7/18	啓発講演会	自立支援介護とは～社会求めている介護福祉実践～
8/3	勉強会	障害者及び高齢者、認知症者の権利擁護と虐待防止
9/14	勉強会	メンタルヘルス
9/14	勉強会	苦情について
9/25	法人内研修	福祉・介護現場における危予知訓練（KYT）
11/8	外部研修	八戸認知症フォーラム
11/8	外部研修	協働まちづくり研修
11/26	法人内研修	接遇について
2/10	外部研修	介護虐待（田中）
2/13～14	外部研修	全国若年性認知症研修（松倉代表、豊間根）
2/27	啓発講演会	生活困窮者への支援について
3/7	勉強会	認知症介護の基礎知識
3/15	法人内研修	発達障害の理解

## ◆ケアプランセンター まゆすい

報告担当者 管理者 和久井津恵子

### 【事業報告】

在宅で介護を必要とする方が、保健、医療、福祉サービスが適切に受けられるよう、本人・家族の意向に沿いケアプランを作成し、各関係機関との連絡・調整を行い、常に適切なサービスが提供され、居宅で自立した生活が送れるよう支援することを目的として事業を行った。

### 【報告項目】

- ① 事業所開設準備
- ② 居宅介護支援事業所の運営

### 【報告内容】

#### ① 事業所開設準備

実施月日	実施内容
4月	開設場所及び開設時期の決定 八戸市大字田面木字赤坂 16-3 5月1日開設で青森県に指定申請書類提出 必要物品等の手配

#### ② 居宅介護支援事業所の運営

##### 1) . 利用実績の管理

ケアプランの作成及びそれに伴う介護サービス提供事業所等との連絡調整を行った。

月別ケアプラン作成件数

月	介護度 要支援	要介護 1・2	要介護 3・4・5	合計	新規	終了
5月	0	46	22	68	68	0
6月	0	45	23	68	0	0
7月	0	44	24	68	1	0
8月	1	43	23	67	1	1
9月	1	47	23	71	3	0
10月	1	50	22	73	5	1
11月	1	47	22	70	0	3
12月	1	50	21	72	2	1
1月	1	47	22	70	1	2
2月	1	47	22	70	0	0
3月	1	48	21	70	0	0
合計	8	514	245	767	81	8

2) . 利用者に関する支援内容を適切に記録した。

## ◆認知症事例検討会

報告担当者 松倉典子

### 【報告概要】

認知症者になってもその人らしく生活していくために、どのような支援が必要か、またどのような体制が必要かを福祉専門職事例をもとに検証し、認知症者の処遇の向上を目指した。

### 【報告項目】

- ①地域で認知症に携わっている専門職員等と、事例検討会を実施。

### 【報告内容】

- ①地域で認知症に携わっている専門職員等と事例検討会を実施。

- 1) 八戸市内の認知症対応型通所介護施設 7 施設中 5 施設が参加し、検討会を実施した。

実施日	内容	参加施設	参加者数
11月11日	「事業所における認知症対応への課題と今後の取組について」 ● 各事業所の概要紹介 ● 各事業所における課題 ● 認知症に特化した取り組み ● プログラムのディスカッション	5 施設	14 名



## ◆障害者の作品展示

報告担当者 松倉典子

### 【報告概要】

障害者の美術作品を展示することにより、その作品を通して地域住民やその他の方に対し、障害への理解・認識を促進するために事業を行った。

### 【報告項目】

- ①障害者への作品募集
- ②障害者の作品展示
- ③作品見学会の実施

### 【報告内容】

#### ①障害者への作品募集

平成 27 年度は作品募集を実施しなかった。

#### ②障害者の作品展示

こころすこやか会館に常設展示している作品に触れる機会を設けることで、より多くの人に病気や障害についての理解を深めてもらった。

月	実施内容
H27 年 6 月	法人主催の講演会開催に伴う常設展示場の開放
H28 年 2 月	法人主催の講演会開催に伴う常設展示場の開放
H27 年 7 月	八戸学院大学人間健康学部 3 年生 8 名

#### ③作品見学会の実施

平成 27 年度は作品見学会は実施しなかった。

## ◆障害者・高齢者・認知症者の福祉に関する 研修会、講演会、イベントの開催

報告担当者 代表理事 松倉典子

## 【報告概要】

障害者や高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域住民等の理解や協力を促進するために、イベントや講演会等を実施した。

## 【報告項目】

- ① 障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会を開催し、地域住民、公的機関の側隠との連携、協働による地域福祉のネットワークづくりを推進する。
- ② 高齢者・障害者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講習会等の実施
- ③ 障害者、高齢者、認知症者への偏見を除去し、地域住民との交流を図るためのイベント等を開催

## 【報告内容】

## ①～③共通

障害者、高齢者、認知症者の地域生活支援に関する研修会及び障害者、高齢者を支える家族、専門職員、一般の方を対象とした講演会の実施並びに障害者、高齢者、認知症者への偏見除去・地域交流を図るためのイベント等を開催した。

## 1) 障害者、高齢者、認知症者を支援するための講座の実施

実施日	講演内容	対象者
H27.6.20	障がい者サポーター養成講座	障害者サポーター
H27.6.24	認知症サポーター養成講座	青森県南地域住民
H27.7.4	むつのだい	むつ市市民
H27.7.12	認知症サポーター養成講座	八戸市民
H27.7.15	認知症研修会（展示）	五戸町民
H27.7.18	財団啓発講演会（展示）	八戸市民
H27.8.11	認知症サポーター養成講座	セブンイレブン
H27.8.29	アルツハイマー記念講演会（展示）	十和田市民
H27.9.12	青仁会ふれあい秋祭り（展示）	八戸市民
H27.9.19	アルツハイマー記念街頭活動	八戸市民
H27.10.11	オレンジ文化祭（青森大学）	青森市民
H27.10.14	認知症サポーター養成講座	瑞光園
H27.10.22	認知症サポーター養成講座	田面木小学校4年
H27.11.8	協働まちづくり研修会	八戸市民
H27.11.26	認知症サポーター養成講座	大館・東地区
H27.11.27	認知症サポーター養成講座	イトーヨーカドー
H27.12.23	財団もちつき会	田面木住民
H28.1.24	認知症サポーター養成講座	八戸市民

H28.2.2	認知症サポーター養成講座	八戸小学校 PTA
H28.2.12	認知症サポーター養成講座	豊崎地区
H28.2.25	認知症サポーター養成講座	柏崎地区
H28.2.27	財団啓発講演会（展示）	八戸市民

2) 講演会の開催

実施月日	実施内容	参加者
7月18日	<p>◆講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自立支援介護とは～社会が求めている介護福祉実践～ 講師 古川 和稔 氏 (聖隷クリストファー大学 教授)</li> </ul> <p>事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自立支援介護の実践～介護新時代～ 講師 東谷 康生 氏 (特別養護老人ホーム サンアップルホーム)</li> </ul>	<p>一般参加 55名</p> <p>スタッフ 29名</p>
2月27日	<p>◆講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ふるさとの会の取り組みと実践報 ～「生きづらさ」を支える支援について 講師 佐久間 裕章 氏 (NPO法人自立支援センターふるさとの会 代表理事)</li> </ul>	<p>一般参加 37名</p> <p>スタッフ 33名</p>

3) イベントの開催

実施月日	実施内容	参加者
8月22日	<p>◆すこやか祭り</p> <p>※当法人所有の「すこやか広場」にてすこやか祭り開催に向けて準備をしていたが、雨天のため中止となった。</p>	<p>一般参加 無し</p>
12月23日	<p>◆もちつき大会</p> <p>田面木公民館を利用したもちつき大会の実施 当法人の活動紹介 地域住民、障害者、高齢者の交流の場の提供 障害者ボランティアによる運営補助</p>	<p>一般参加 65名</p> <p>障害者サポーター 2名</p> <p>田面木婦人会 9名</p> <p>八戸市社協ボランティア 9名</p> <p>障害者ボランティア 4名</p>

4) 認知症フレンドシップクラブ主催の「ラン伴 2015」への参加

実施月日	実施内容
9月5日	<p>主催：認知症フレンドシップクラブ 結び家前（八戸市）～岩手県庁（盛岡市） 認知症の人と伴に生きる社会を目指し、認知症の人、家族、支援者、一般市民が協力しあい、1つの襷をつなぎながらゴールを目指すイベントに参加。 担当区間への参加チーム数 7 団体 当法人参加人数 13名</p>

5) 八戸市主催「認知症フォーラム」への参加

実施月日	実施内容
11月8日	<p>八戸市委託事業 受託先・認知症の人と家族の会 フォーラム企画等に参加 当法人参加人数6名</p>

## ◆介護予防

報告担当者 代表理事 松倉典子

### 【報告概要】

地域の方一人ひとりが健康維持について高い意識をもち仲間づくりをすることで、高齢者の閉じこもりを予防し、要介護状態になることを予防することを目的として事業を行う予定であったが、在宅介護支援センターたえみで行った介護予防教室のみの実施となった。

### 【報告項目】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施

### 【報告内容】

- ①地域住民を対象に介護予防に繋がるプログラムを実施。
  - 1) 当法人で運営する在宅介護支援センターたえみで介護予防教室を実施したが、その他在宅高齢者向けに実施予定の予防教室は開催に至らなかった。

## ◆法人後見の実施及び成年後見制度利用に関する支援

報告担当者 代表理事 松倉典子

## 【報告概要】

個人の尊厳を重視する権利擁護活動において、権利擁護の推進を図ることを目的とし、スタッフの後見人活動を支援した。

## 【報告項目】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援
- ② 成年後見制度利用相談支援

## 【報告内容】

- ① 法人スタッフの権利擁護活動を支援

「ぱーとなー青森」に所属する法人スタッフ 1 名の後見活動を支援した。

対象者	実施内容	登記	担当
知的障害者 女性 60 歳代	後見事務	H24.12.14	松倉

- ② 成年後見制度利用相談支援

成年後見制度利用に関係する相談を各相談支援機関事業所で受け付けつけることとなっていたが、どの事業所においても対象者が 0 件であった。

## ◆もの忘れ検診機器の貸出

報告担当者 有谷泉

### 【報告概要】

認知症の早期発見早期受診を目的として、もの忘れ検診機器の貸し出しを行うことで、もの忘れ検診をより普及した。

### 【報告項目】

- ① タッチパネル式もの忘れ検診機器の貸出
- ② もの忘れ検診機器の点検

### 【報告内容】

- ① タッチパネル式の物忘れ検診機器を市町村等へ貸出。  
県内外公的機関その他団体に検診機器の貸し出しを行った。

月	実施内容		
5月	日本医科大学千葉北総合病院	1日間	4台
6月	日本医科大学千葉北総合病院	1日間	4台
7月	日本医科大学千葉北総合病院	1日間	4台
	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
8月	新郷村地域包括支援センター	5日間	3台
9月	日本医科大学千葉北総合病院	1日間	4台
	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
	大鰐町保健福祉課	1日間	1台
10月	医療法人大誠会	1日間	1台
	東通村地域包括支援センター	1日間	3台
	医療法人仁泉会 介護老人保健施設しもだ	1日間	1台
	日本医科大学千葉北総合病院	1日間	4台
11月	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
	大鰐町保健福祉課	2日間	1台
	日本医科大学千葉北総合病院	1日間	4台
	在宅介護支援センターたえみ	1日間	2台
12月	野辺地町地域包括支援センター	2日間	2台
	大鰐町保健福祉課	1日間	1台
	六戸町地域包括支援センター	3日間	3台
	こころすこやか財団もちつき大会	1日間	2台
1月	八戸市地域包括支援センター	1日間	5台
2月	田舎館村地域包括支援センター	1日間	2台
3月	高知工科大学脳コミュニケーション研究センター	1日間	1台
	老年病研究所付属病院認知症疾患医療センター	1日間	5台
<b>延貸出台数</b>			<b>92台</b>

- ② タッチパネル検診機器の点検

月	実施内容
4月	タッチパネル機器とプリンタの点検

## ◆認知症徘徊 SOS 模擬訓練

報告担当者 山口亜矢子

### 【報告概要】

認知症になっても安心して暮らせるまちにすることが地域住民の目的であり、同じ田面木地区で活動する法人として、地域の方々と共同で徘徊 SOS 模擬訓練を行なった。模擬訓練では搜索方法と徘徊者への声掛けの方法を学び、地域住民が支援者として活躍できることを目指した。

### 【報告項目】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。
- ②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動並びに立ち上げ協力、組織化への支援を実施。

### 【報告内容】

- ①田面木地区で認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

#### 1) 認知症徘徊 SOS 模擬訓練の実施。

田面木地区社会福祉協議会、田面木地区町内会等を中心に、田面木まごころネットワークとして実施計画を立案した。当日は田面木地区外からも参加し、67名の参加があった。

実施日	実施内容	備考
H27.7.11	田面木民生委員会議にて事前会議日の調整	-
H27.7.15	連合町内会長へ事前会議日の調整	-
H27.8.5	事前会議企画書提出	-
H27.9.3	田面木まごころネットワーク事前会議	参加者 21 名
H27.9.10	モデル徘徊者ボランティアの募集（福祉関係者）	3 施設
H26.9.20	町内回覧板依頼（5 町内）	133 部
H27.10.7	取材依頼（5 社）	当日取材 4 社
H27.10.10	田面木婦人会と炊き出しについて打合せ	
H27.10.22	田面木小学校訪問	
H27.10.25	認知症徘徊 SOS 模擬訓練実施	参加者 67 名

※取材：デーリー東北、東奥日報、青森県企画制作部（県民だより）、ミセスV6

#### 2) 認知症サポーター養成講座の実施。

実施日	実施内容
H27.10.22	田面木小学校 4 年生対象に認知症サポーター養成講座実施

②田面木地区以外の地区におけるネットワークの事業紹介と啓発活動ならびに立ち上げ協力、組織化への支援予定としていたが、依頼がなかったため実施しなかった。

## ◆自動販売機等の設置及び不動産貸付事業

報告担当者 代表理事 松倉典子

## 【報告概要】

収益事業で収入を得ることにより、その収益の50パーセントを公益事業へのみなし寄付とすることで、公益目的事業の運営資金とするために事業を行った。

## 【報告項目】

- ① 自動販売機収入
- ② 公衆電話収入
- ③ 不動産貸付事業収入

## 【報告内容】

## ① 自動販売機収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売機周辺の清掃</li> <li>・入金確認</li> </ul>

## ② 公衆電話収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字松長根 5-4 グループホーム「あおぞら」内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集金</li> <li>・入金</li> <li>・電話機のメンテナンス</li> </ul>
八戸市大字田面木字赤坂 26-7 グループホーム「あおめ」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-9 グループホーム「青風荘」内	
八戸市大字田面木字赤坂 35-35 障害者生活訓練施設「青山荘」内	

## ③ 不動産貸付事業収入

## (1) 屋外広告用看板スペース貸出し収入

貸出場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 14-4 地域生活支援センター青明舎 建物壁面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借主（医療法人青仁会）との打合せ</li> <li>・入金確認</li> </ul>

## (2) 土地の賃貸借による収入

設置場所	実施内容
八戸市大字田面木字赤坂 22-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約内容の確認打合せ</li> <li>・支払いの確認</li> </ul>
八戸市大字田面木字赤坂 22-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-1	
八戸市大字田面木字赤坂 24-2	
八戸市大字田面木字赤坂 24-4	
八戸市大字田面木字赤坂 24-5	